

## 富津市社会教育委員会議会議録

1 会議の名称	平成26年度第2回富津市社会教育委員会議
2 開催日時	平成27年3月13日 午後4時03分～午後5時18分
3 開催場所	いち川会議室（岩瀬）
4 審議等事項	<p>(1) 第49回君津地方社会教育振興大会について</p> <p>(2) 君津地方社会教育委員連絡協議会研修会について</p> <p>(3) 富津市民文化祭2014について</p> <p>(4) 第49回千葉県社会教育振興大会について</p> <p>(5) 平成27年成人式について</p> <p>(6) 第15回富津市生涯学習推進大会について</p>
5 出席者名	<p>(委員) 小泉清治、三富和彦、森田健一、坂部充洋、大野泰代、宮内和男、神子勇、平山悟、高橋栄二、杉田玲子、森千枝子</p> <p>(事務局) 渡辺教育長、古宮教育部長、島田生涯学習課長、當眞係長、平野主事、岩波社会教育指導員、市川社会教育指導員、仲野家庭教育指導員</p>
6 公開又は非公開の別	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">公開</span> ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	0 人 (定員 5 人)
9 所管課	<p>教育部 生涯学習課 社会教育係</p> <p>電話 80-1345</p>
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

第2回富津市社会教育委員会会議録

発言者	発言内容
<p>(事務局) 島田課長</p>	<p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は何かとお忙しい中ご出席を頂き、誠にありがとうございます。</p> <p>本会議の司会は、生涯学習課長の島田が務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>会議の開始に先立ち、出欠席の報告をさせていただきます。本日の出席委員は11名、欠席委員は4名でございます。従いまして、2分の1以上の出席がございますので、社会教育委員会議運営規則第3条第5項の規定により、会議は成立いたします。</p> <p>それでは、ただ今から平成26年度第2回社会教育委員会議を始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、小泉委員長からご挨拶をお願いします。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>(小泉委員長挨拶)</p>
<p>(事務局) 島田課長</p>	<p>ありがとうございました。続きまして渡辺教育長からご挨拶を申し上げます。</p>
<p>渡辺教育長</p>	<p>(渡辺教育長挨拶)</p>
<p>(事務局) 島田課長</p>	<p>ありがとうございました。ここで会議の公開について、説明させていただきます。</p> <p>本会議は、富津市情報公開条例第23条第1項の規定により、公開となります。</p> <p>このため、後ほど会議録署名人2名を決めて頂きたいと思っております。</p> <p>また会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承願</p>

	<p>ます。</p> <p>これよりの議事の進行につきましては、小泉委員長より進めて頂きたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
小泉委員長	<p>それでは、これより会議に入ります。</p> <p>まず会議録署名人を決めたいと思っておりますが、私からの指名でよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
小泉委員長	<p>ご異議もないようですので、本日の会議録署名人は宮内委員と大野委員にお願いしたいと思っております。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
小泉委員長	<p>会議録署名人は、宮内委員と大野委員に決定いたします。</p> <p>次に、平成26年度事業報告について事務局から説明願います。</p>
(事務局) 當眞係長	<p>平成26年度富津市社会教育事業の概要についてご説明いたします。お手元の資料1ページから4ページまでをご覧ください。主な事業についてご説明させていただきます。</p> <p>(以下、「平成26年度社会教育事業報告」により説明。)</p> <p>1ページから3ページまで 平成26年度社会教育事業報告</p> <p>4ページ 平成26年度文化事業報告</p>
小泉委員長	<p>ありがとうございます。ただ今、事業報告について説明がありました。委員の皆さんからご意見・ご質問等ありますでしょうか。</p>

<p>宮内委員</p>	<p>4 ページの文化事業のうち古墳について質問いたします。</p> <p>先日、文化協会にて古墳の研修を行いました。その際に古墳の登り口などの見学路に草が生い茂っており、よろしくない状態でしたが、むやみに木や草を切ってはいけないという説明がありました。いくつかの古墳はきれいに整備されていると思いますが、市内全体を見ると富津市の古墳はわりと整備が進んでいないのではないかという印象を受けました。</p> <p>確かにむやみに木を伐採してはいけないとは思いますが、見学者が来た際の通路くらいは整備しておくべきだと考えます。この点についてはいかがお考えでしょうか。</p>
<p>事務局 (島田課長)</p>	<p>おっしゃる通りの現状でございます。</p> <p>市としては毎年予算が削られていく中ではありますが、内裏塚古墳をはじめとする5か所の古墳は業者に整備をお願いしております。そのほかの県指定7か所及び市指定15か所の計22か所につきましては、市から報償費という形で整備に関する支出をしているところです。指定以外の古墳等については教育部職員で対応しているところです。このような施策を行っていますが、全ての古墳についてはカバーしきれていないという現状でございます。</p> <p>カバーしきれていない古墳を少しでも減らすために、生涯学習課をはじめ、教育部職員で草刈り等の整備に取り組んでいるところです。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>文化財だからむやみに手を加えてはいけないということですが、整備が行き届いていない古墳を住民ボランティアで何とかしようかと話が出たときに、整備活動をしてよいのでしょうか。</p>
<p>事務局 (島田課長)</p>	<p>古墳の周囲にある見学路については、整備して頂くことについてはありがたいです。しかし古墳の本体部分の清掃については、</p>

	<p>生涯学習課に連絡して頂きたいです。</p> <p>本来であれば、市及び職員がやるべきところですが、現在はNPOやボランティアの方々に清掃活動を実施して頂いております。</p> <p>内裏塚古墳は登り降りする道がいくつかありますが、1つの道しかあまり知られていないような気がします。例えば、こちらからも登れます、降りられますといった案内があると良いと思います。</p> <p>関連として、成田市の芝山古墳についての話です。ここは行政ではなく、市民が中心となってボランティア清掃をしています。古墳の規模で見ると内裏塚古墳のほうが大きいですが、小規模である芝山古墳がよく整備されています。富津市も予算がないというばかりではなく、何でも行政がやろうとする考えからボランティアに整備をお願いしていく流れが必要なのではないでしょうか。</p> <p>また、市の発行物に「古墳のいっぱいある町」といった宣伝がありました。しかし宣伝をしているわりには、整備が進んでいないのではないのでしょうか。</p> <p>古墳の里ふれあい館にバッグを背負った方たちが見学にいらっしやることがあります。しかし見学を済ませた後はもう二度と来ないといった感想を持ってしまう方がいるようです。いざ行っても史跡がわかりにくく、せつかくの古墳がもったいないじゃないかという意見をよく聞きます。</p> <p>行政に任せるのではなくて、もう少し市民の皆さんと考えていく時期に差し掛かっているのではないのでしょうか。</p> <p>ただ今、宮内委員から参考になる意見が出ましたので、反映してほしいと思います。</p>
--	---

高橋委員	<p>それぞれの古墳は市所有でしょうか。市であれば市の予算で、個人所有ならば個人にお願いするしかないと思います。</p>
(事務局) 島田課長	<p>皆さんご存知のように、国指定・県指定・市指定とそれぞれあります。内裏塚古墳を例に挙げますと、もともと民有地でしたが、国指定になったことにより、市での買い上げを進めてきました。</p> <p>ただ、約2万3千平米にわたる敷地のため、48.5%を買い上げるに留まっております。地目が山林のため共有者が多く存在していることにより、買い上げの手続きがスムーズに進んでいないのが現状です。</p> <p>土地の買い取りについては国からの補助金は出ますが、清掃について補助金は出ません。先ほど申し上げた通り、22か所の指定古墳は市から補助金を出しており、その中で清掃活動をお願いしております。</p>
杉田委員	<p>先日テレビから得た情報ですが、住民が史跡環境の危険を何とかしたいとのことで修繕をしたところ、行政側よりストップがかかるといったことを聞きました。</p> <p>古墳のように歴史的な財産は、現代に生きる私たちの判断で手を加えることは難しいと思いました。個人や市所有であるなどの様々な事情はございますが、どこまではボランティアの判断で行っても良いのかの境界をはっきりと示して頂きたい。この基準を明確にしておかないと、ボランティアで清掃活動を行おうとする人がいてもなかなか手を出しづらいと思えます。</p>
(事務局) 島田課長	<p>古墳ではありませんが、例えば竹岡のヒカリモについては地元の方が清掃活動を行って頂いております。ただ今、ご意見のありました史跡本体部分についての清掃は、まず生涯学習課に連絡をして頂き、協議の上で行って頂きたいところです。古墳の見学路及び周辺の清掃についてはありがたいことと考えております。</p>

<p>杉田委員</p>	<p>市民の方がボランティアで清掃を行う過程で市役所を介さなければならぬのは、非常にハードルが高いと思います。この点で清掃活動を断念してしまう方がいると残念ですので、市民に清掃活動について情報提供をしてみるのはいかがでしょうか。</p>
<p>(事務局) 島田課長</p>	<p>行政から広報や回覧を用いて清掃をお願いするのは、なかなか言いづらいところがあります。清掃については、市がやるべきではないかという考えを持つ方は少なからずいらっしゃいます。こちらから働きかえるのは難しいが、生涯学習課へ連絡があれば、ぜひ協力させていただきます。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>ほかの市で史跡周辺の道にて拡幅工事を実施したところ、原状復帰命令が出てしまうケースがあったと聞きました。このことを踏まえましても、やはりどこまでボランティアで清掃活動を行うことが出来るか境界を示していた方が良いでしょう。</p>
<p>(事務局) 島田課長</p>	<p>重機を用いるほか、大掛かりに整備を実施することは、文化庁及び県からよろしくないとの指針が出ております。大掛かりな整備を行うと文化庁等から市へ指導がある可能性がございます。</p>
<p>大野委員</p>	<p>私有地を通らないと行くことのできない古墳があると思います。その私有地の通行については、古墳見学の方は自由に通行しても良いと解釈してよろしいものでしょうか。</p>
<p>(事務局) 當眞係長</p>	<p>所有者のご厚意で協力を頂いているので、自由に通行してもよいとまで解釈するのは難しいです。事前に所有者にお声をかけて頂ければと思います。</p>
<p>大野委員</p>	<p>やはり私有地なので、所有者の方に許可を頂くということですね。</p>

森委員	<p>毎年5月に古墳祭りの時期になると、内裏塚古墳周辺の草刈りをしているようです。地域住民が家の近くに古墳があるという意識が薄くなっているように思えます。地域の人にこれだけの素晴らしい古墳があるのだという意識が広がっていけばよいと思います。</p>
三富副委員長	<p>古墳の話が続いておりますので、私からも史跡に関連した話をいたします。</p> <p>百騎坂という頼朝伝説の坂があります。これは市道なのですが、近年新たな道が出来たため、あまり使われなためか道の状態が良くないです。史跡見学に訪れる団体があり、バスの通行が難しい状態となっております。区長を通じて市へ修復のお願いをしておりますが、なかなか着工へは至っておりません。富津市には古墳だけではなく、様々な史跡がございます。これらについても住民ボランティアとして市へ協力したいと考えている方が多くいると思います。また繰り返しとなりますが、どのあたりまでボランティアの判断でやってよいか示して頂きたいと思います。</p>
神子委員	<p>市にはボランティアと史跡とのパイプ役になって頂きたいと思います。例えば、ボランティア清掃を行いたい方がいれば、市が土地の所有者と調整を図り、清掃活動をやりやすい環境を整えるということが考えられます。少しずつでも進めていくべきだと考えます。</p>
小泉委員長	<p>各委員から活発な貴重な意見が出てまいりました。史跡に関する事項はぜひとも取り組んで頂きたいと思います。</p> <p>文化事業に関しての議論はこれにて終了とし、報告（1）の第49回君津地方社会教育振興大会について、森田委員から報告をお願いします。</p>



森田委員

報告（１）第４９回君津地方社会教育推進大会について報告いたします。

昨年７月１２日土曜日、第４９回君津地方社会教育推進大会が、君津市民文化ホールにて開催されました。

富津市からは、小泉委員長をはじめ社会教育委員１２名と事務局の生涯学習課職員２名が参加しました。

表彰状の贈呈では、富津市からは、個人の部で社会教育委員であります三富和彦氏、文化協会理事・茶華道部部長であります鳥海和子氏の２名が社会教育への功績が認められ表彰状が授与されました。

また、本大会に共催をしている新日鐵住金株式会社君津製鐵所が、社会貢献賞として制定しているクローバー賞の表彰が行われ４団体が受賞しました。

式典終了後の記念講演では、株式会社アスク・ヒューマン・ケア取締役研修相談センター所長の水澤都加佐氏を講師に招き、「子どもが健康に成長するために～周囲の大人に求められるもの～」と題した講演が行われました。

子どもが育っていくためには、十分に愛され、受け止められ、リラックスできる場が必要です。また、子どもは親のもとだけで成長するわけではなく、周りの大人のサポートも必要です。親子関係に自信の持てない親が増えている中、親子関係はもとより、地域で子どもを育てる活動をしていくうえで大変有意義な講演となりました。

記念講演終了後、大会決議文が参加者全員賛成のもと採択し、閉会となりました。

今年度は、袖ヶ浦市社会教育委員が中心に大会を開催し、３１１名の参加者で、盛大に開催されました。富津市からは５８名の参加でした。平成２７年度は、木更津市が開催市となりますので、委員のご協力をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

小泉委員長	ただ今、森田委員から第49回君津地方社会教育推進大会について報告がありました。ご質問はありますでしょうか。
各委員	特になし。
小泉委員長	ご質問等はないようなので、次の報告（2）君津地方社会教育委員連絡協議会研修会について杉田委員より報告を頂きます。
杉田委員	<p>昨年12月1日、月曜日に平成26年度君津地方社会教育委員連絡協議会研修会が君津市生涯学習交流センターにて開催されました。</p> <p>研修会の参加者は総勢36名で、富津市からは小泉委員長、三富副委員長、宮内委員、川名委員、森委員と私の5名と公民館運営審議会宮崎委員長と事務局の島田課長、當眞係長の8名が参加しました。</p> <p>はじめに、事例報告として君津地方社会教育の現状について袖ヶ浦市、君津市より事例報告がありました。</p> <p>① 袖ヶ浦市の公共施設有料化の検討経過について</p> <p>袖ヶ浦市の市民会館・公民館等使用料の見直しを図る中で、減免規定の見直し変更・改善を行っています。会議を通して、公民館は何のためにあるのかといったことがテーマとなりました。</p> <p>② 君津市社会教育委員会議、答申への取組</p> <p>教育委員会から「今後の君津市公民館整備と運営について」諮問を受け、その答申作業を進めています。</p> <p>小委員会を立ち上げ、公民館の歴史と意義についても学習する中で今後の君津市の公民館のあるべき姿を検討しています。</p> <p>年度内に答申をまとめられるように作業を進めているとのことです。</p> <p>講義は「今、求められる社会教育委員の活動とは？～社会教育施設の有料化について考える～」というテーマで千葉大学の長澤</p>

<p>小泉委員長</p> <p>當眞係長</p>	<p>成次氏を講師に行われました。</p> <p>この講義は大変素晴らしいものであり、委員のみなさんに参考資料を配布するよう事務局に依頼しました。各委員のご手元に配布してありますので、ぜひご一読をお願いします。</p> <p>講義の参加者からは次のような質問及び感想がありました。公民館は何のためにあるのか、社会教育委員の役割を再認識、地域づくり・人づくりが大事であるなどでした。</p> <p>最後に私の感想として2点述べさせていただきます。</p> <p>まず、市の教育委員会と社会教育委員会議の関係及び位置づけです。隣の君津市では、諮問と答申が機能しており、これは見習うべきだと思いました。本日の会議では、宮内委員による文化事業への意見を皮切りに活発な意見交換が行えたと思います。このように今後も富津市社会教育委員会議の結果を受けて、どのように市民の生活に還元できているか、目に見える形で成果が出ればよいと思います。</p> <p>次に「これから富津市社会教育活動について」というテーマをこの会議の場でもっと意見交換が出来るといいと思いました。</p> <p>以上で報告を終わります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>杉田委員から報告があった通り、木更津・君津・袖ヶ浦の各市では答申は出ているようですが、富津市社会教育委員が始まって49年の歴史の中で諮問・答申については1件もありません。</p> <p>社会教育委員から問題提起をしてもらいたいと思います。そういう点からもさきほどの文化事業は最高の題材になるのではないかと考えます。</p> <p>私の方から、教育委員会と社会教育委員会議の関係性について説明いたします。これまでこの会議においては諮問・答申は出しておらず、この会議の弱点となっておりますし、今後の課題になっ</p>
--------------------------	---

	<p>ております。</p> <p>全国的にみると、諮問・答申を行っていない市町村は多いというのが実態でございます。会議自体も2回と少ない中、諮問・答申を行うためには小委員会を設置し、会議の回数も5、6回と増やしていく必要がございます。</p> <p>現状では地域課題等が出てきていると思いますので、来年度は会議開催を3回とし、社会教育に生かしていくようにと考えております。</p> <p>また、諮問・答申はなくとも、この会議において各委員から意見が出てくることは、ある意味での諮問・答申になるかと思えます。</p> <p>今後も各委員の意見を参考にしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
小泉委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>さて、君津地方社会教育委員連絡協議会研修会の資料ですが、よくできていると思っておりますので、時間があればぜひ読んで頂きたいと思えます。</p> <p>杉田委員の報告に関しては、以上ということによろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
小泉委員長	<p>それでは次の報告（3）富津市民文化祭2014について宮内委員から報告を願います。</p>
宮内委員	<p>では、富津市民文化祭2014について報告申し上げます。</p> <p>市民文化祭は10月31日（金）から11月3日（月）までの4日間、富津公民館・中央公民館・市民会館・総合社会体育館の4会場で開催されました。</p> <p>ポスターにつきましては、市内小中学校に募集したところ、</p>

	<p>186点の応募がありました。</p> <p>その中から天羽中学校3年影山稚紘さんの作品が優秀作品としてポスターに採用されました。</p> <p>また、メインテーマは、市内小中学校および一般から募集をしたところ349点の募集があり、その中から優秀作品として、天羽中学校2年白井鈴々華さんの「育てよう 未来に続く 僕らの文化」が優秀作品として採用されました。</p> <p>文化祭全体の出演・出展者数は、3,580人、展示部門作品数は、3,158点、芸能部門・催し部門の曲数は260曲、子どもまつり部門の種目50種目でした。それぞれ日ごろの活動成果による作品または芸能発表等大変素晴らしい内容でした。</p> <p>参観者数は15,785人で、昨年度より757人の増加となりました。</p> <p>各会場での催しについてもっと多くの市民の皆様に見て頂くようにさらに啓発活動が出来れば良いと思います。</p> <p>以上で、富津市民文化祭2014についての報告を終わります。</p>
小泉委員長	<p>宮内委員から市民文化祭についての報告を頂きました。</p> <p>各委員からご意見・ご質問などありますでしょうか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
小泉委員長	<p>市民文化祭は参加者の伸び悩みに直面しているところでございます。特に若い世代の参加が少ないので、各委員から良い知恵をお借りして、さらに盛り上げていきたいと思っております。</p> <p>次の報告(4)第49回千葉県社会教育振興大会について、三富副委員長から報告願います。</p>
三富副委員長	<p>それでは、私からは第49回千葉県社会教育振興大会について</p>

報告いたします。

昨年、11月17日月曜日、第49回千葉県社会教育振興大会が千葉県総合教育センター大ホールにおいて開催されました。富津市社会教育委員は、小泉委員長と高橋委員と私の3名、事務局から當眞係長が参加しました。

千葉県社会教育委員連絡協議会会長の中山清志氏の主催者あいさつ後、千葉県社会教育連絡協議会表彰が執り行われました。

式典の終了後、事例発表3市町から行われました。

#### 事例発表① 多古町教育委員会生涯学習課

##### 青子の活動について

多古町では青少年相談員と子ども会育成会が連携を取りながら、子どもたちのために今年で35回目を迎える子ども祭り大会を実施しています。

内容は全長50m、高さ7mの「竹コースター」の製作や子どもたちが模擬店を開いて、売買を体験します。その他として、ドッジボール大会やウォークラリー大会も開催しています。

活動の課題としては、青少年相談員や子ども会育成者の成り手が不足していること、イベント参加者が減少していること、マンネリ化している点が挙げられます。

#### 事例発表② 匝瑳市教育委員会生涯学習課

##### 匝瑳市の通学合宿「そうさフロンティア学寮」について

「そうさフロンティア学寮」とは、匝瑳市に合併する前の野栄町で開催していた「のさかフロンティア学寮」がもとになっています。匝瑳市生涯学習センターを宿泊場所として、3泊4日で小学校5・6年生を対象として実施しています。各中学校区を単位として年間で3回実施し、スタッフは青少年相談員をはじめとして、地域ボランティアに支えられています。

今後の課題としては、女子児童が増えたことによる女性スタッ

フの確保や予算の確保、小字化に対応した事業展開が挙げられません。

### 事例発表③ 芝山町教育委員会教育課

#### 芝山町の青少年教育

芝山町の青少年教育の3本柱は、「町子ども会」、「青少年相談員」、「若竹塾」で協力して事業を行っています。事業内容としては、地引網体験、スキー&スノーボード体験などを開催している。

ここでも女子生徒への対応として女性相談員が1名しか委嘱されていないことから対応に苦慮しているようです。

続いて記念講演が行われました。

千葉敬愛短期大学学長の明石要一氏を講師とし、「郷土が人を育み、人が町の個性と魅力を創る」という演題で行われました。

講演の主な内容として、まず世の中は変動していることを理解しなければなりません。次に肉食女草食男化しており、学校でリーダーシップを取るの女子にとって代わられたなど今の子ども何かが問題かを理解し行く必要があります。

また、今の子どもたちはスケジュール帳に予定がぎっしりと入っている子が多く、大変忙しいようです。経済格差が体験格差を生んで、体験格差が学力格差や体力格差を生んでいます。

地域で子どもたちが体験できる場数を用意してあげて、子どもが自ら小さな決断をするような仕掛けが必要。子ども自ら意思決定するチャンスを与えるべきです。

親や先生だけではなく、第3の大人としての地域の大人として関わるのが大事である。学校でも家庭でもない場を作っていくことが大事です。

「二つの風と一つの色」とは、家訓を作ったり、家紋を伝えたりといった、家自慢の「家風」、学校自慢の「校風」、まち自慢の「地域色」を普及させて、今の子どもたちは自尊感情が低いです

	<p>が、もっと自尊感情を高めるように地域の大人が関わっていく必要があります。</p> <p>最後になりますが、2年後には第58回の全国社会教育研究大会千葉大会が開催されますので、各社会教育委員が協力して大会を盛り上げていこうと思います。</p> <p>以上で第49回千葉県社会教育振興大会について報告を終わります。</p>
小泉委員長	ただ今の報告について、何かご質問はございますか。
各委員	特になし。
小泉委員長	<p>ご質問等はないようですので、報告（5）平成27年成人式について私から報告を申し上げます。</p> <p>今年の成人式は1月11日、日曜日午後2時から富津公民館にて例年の通り開催されました。</p> <p>該当者は平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた市内居住者及び市外転出者524名で出席者412名でした。出席率は78.6%で例年通りでございました。</p> <p>成人式の時間帯は朝早くから行われていたものを、近年から午後からに変更いたしました。また、日付についても消防の出初式の翌日だったものを同じ日にして、午前は消防出初式、午後は成人式というようにいたしました。</p> <p>成人式を市内で一本化している、記念写真を配布しているのは県内でも富津市だけとなっており、県内でも誇れるような行事となっております。</p> <p>社会教育委員の皆さまにも参加を頂き、お祝いして頂き誠にありがとうございました。</p> <p>以上で、平成27年成人式についての報告を終わります。</p> <p>成人式について何かご質問はありますでしょうか。</p>



各委員	特になし。
小泉委員長	次に最後の報告（６）第１５回富津市生涯学習推進大会について事務局から報告願います。
(事務局) 當眞係長	<p>それでは、お手元の資料５ページをご覧ください。</p> <p>第１５回富津市生涯学習推進大会は２月１日、日曜日午後２時２０分から富津公民館において開催されました。オープニングアトラクションでは今年の３月をもって閉校となる関豊小学校児童による三味線の演奏と踊り、関豊小学校児童と関豊小学校を卒業した中学生・高校生とで構成された関豊合唱団による合唱が行われました。</p> <p>アンケート結果についてたくさん書いて頂いている方が多く、閉校となる関豊小学校の三味線の演奏と歌声、それに合わせた踊りや澄んだ歌声に感動しましたという声がありました。人の心を動かすようなアトラクションになったのではないかと思います。</p> <p>式典終了後、元NHKキャスター村松真貴子氏を講師にお招きし、「話し方・食べ方・笑顔でつくるあなたの健康」と題した講演を行いました。村松先生は、ステージから客席に降りて、会場の来場者を巻き込みながら、笑顔をつくることで良好な対人関係をとることができるとともに、心と体が健康で、生き生きと生活できるとおっしゃっていました。「良いことがあったら笑顔になるのではなく、笑顔でいるからこそ良いことがある。」との言葉を私も実践していきたいと思いました。参加者は関係者を含め５４６名でした。</p> <p>第１５回をもちまして、生涯学習推進大会はひとまず休止ということになります。今後につきましては、社会教育委員会議の中で諮って頂いて、「地域づくりのための研修会」のようなものを開いていければと思います。</p> <p>委員の皆様はお忙しい中のご参加を頂き感謝申し上げます。</p>

小泉委員長	ただ今の報告につきまして、ご質問はありますでしょうか。
各委員	特になし。
(事務局) 當眞係長	<p>特にないようなので、私から感想を申し上げます。</p> <p>講演で村松講師から教わったことですが、自己紹介をするときに姓と名の間に一呼吸を置くと覚えてもらいやすいとのことです。</p> <p>さらに漢字についてもたとえば、「小泉」はちいさないずみで、「清治」はきよらかなせいじです。といったように自己紹介をすることで場を和ませることができます。</p> <p>これ1つ覚えているだけでも非常に有意義な講演でした。</p> <p>これにて本日の会議における報告は終了といたします。</p> <p>次に5その他に移ります。皆さん何かありますでしょうか。</p> <p>この度、小泉委員長は全国表彰を受賞いたしました。</p> <p>これにつきまして、委員の皆様のご賛同を得まして、小泉委員長へ記念を贈呈することといたしました。</p> <p>会議終了後の懇親会会場にて委員の皆様よりお渡しいたします。ご賛同頂きました皆様方ありがとうございます。</p>
小泉委員長	<p>記念品を準備して頂いたそうでありがとうございます。</p> <p>ほかにはありますでしょうか。</p> <p>皆様、本日はお忙しいところご出席頂きありがとうございます。</p> <p>この会議で出た意見がこれからの富津市に役立っていくものと思います。</p> <p>本日の議題についてはすべて終了といたします。</p>

<p>(事務局) 島田課長</p>	<p>以上を持ちまして、平成26年度第2回社会教育委員会議を閉 会といたします。 ありがとうございました。</p>
-----------------------	---